

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第10回地域移行・地域生活支援部会			
(2) 開催日時	平成29年2月9日(木) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	大田区役所 HK-203会議室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：青山 明子)			
	白井 絵里子	志村 陽子	鶴田 雅英	福田 功志
	岡本 洋	林 達彦	山根 聖子	伊藤 朋春
	田中 庸介	井岡 幸子	山田 紗梨	藤牧 裕佳子
	関係者：平林 直樹 (障がい者総合サポートセンター居住支援部門主任) 石毛 哲洋 (障がい者総合サポートセンター相談支援部門)			
	区職員：金子 江理子 (健康医療政策課)			
	区事務局：井村 陽介、岩下 祐輔、(障害福祉課)、 江波戸 宏、齋藤 愛理 (障がい者総合サポートセンター)			
(5) 内容・要旨	<p>1 確認・連絡事項</p> <p>(1) 司会・書記の確認</p> <p>(2) 出欠者・配付資料の確認</p> <p>(3) 第3回全体討議会(2/6)の実施報告</p> <p>○推進プランの会長からの意見提出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見に対してフィードバックの方法を検討したい。 ・意見だしの工夫が必要。 <p>○自立支援協議会のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区からの変更点について提案(全体討議会の廃止、運営会議と役員会議の統合、部会の人数等) ・これまでは組織の変更について、事務局から話があったことはなかった。 ・委員の選出から見直しが必要ではないか。 ・全体としての課題共有は難しい。部会を盛り上げていくことが必要。 ・他の部会を知れるということで参加していたが、無くなるのであればしょうがない。 ・運営会議や全体討議会で意向や要望が出すぎた結果、まとまらなくなってしまったので、一度スリムにするというのはいいと思う。 ・障がいの分野では、少数の意見をどう吸い上げるかが重要。 <p>(4) 第3回本会の開催について</p> <p>(5) さぼーとぴあにおける福祉避難所開設訓練について</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 年度まとめ・次年度に向けて</p>			

○今年度の取り組みについて

- ・部会の進め方や意見共有の工夫ができた。
- ・障害種別ごとの検討から、幅広い情報共有ができた。
- ・地域資源について障害種別を超えた様々な立場で認識することができた。
- ・課題を洗い出す視点や方法が見えてきた。

○本会報告資料について

【修正点】

P 2 医療的ケアの必要な障害のある方の地域生活から考える“支える仕組み”

- ・「医療的ケアの必要な障害のある方」に修正。
- ・部会での主な意見（「見えてきた課題／今後の取り組み」は削除）
「専門職が多くかかわるチーム連携により支援を行う場合、本人の意思表示が明確でなければ、責任所在を明確にすることの難しさが明らかになった。」に修正。

P 4 「おおた障がい施策推進プラン」への意見出し

- ・「様々なタイプのグループホームが区内に設置されている。その運営や支援の継続・向上のためにネットワークづくりを区としてもバックアップしてほしい。」に修正。
- ・「今後はケアマネジャーと相談支援専門員が兼任していくことが必要となる。地域包括支援センターとの連携をより具体的に考えていった方がいい。」に修正。

P 6 来年度に向けて

- ・方向性：「課題や解決策の可視化（情報を提供し成果につなげる）」に修正。

○その他決定事項

- ・公開勉強会の話は口頭で伝える。
- ・身体障害者のところ表記に関しては部会長と事務局とで相談し決定する。

(2) その他

- ・各委員より挨拶
- ・青山部会長より今年度最後の挨拶